



広報



2006. 10 No. 7

あびら

監視の目を光らせ 自然環境を守る

微量でも

人体や環境に悪影響

何万分の1とか、何億分の1の単位を聞いてもなかなか実感がわきませんね。そこで、下の表は具体例を参考に算出したものです。例えば、1兆分の1（ppt）は、岩手県

面積に相当するはがき一枚分の面積に相当するはがき一枚分の面積に相当。重さでいうと、10万トンの大型タンカー10隻分

に対する1gということですが、環境問題を考える時、微量な量でも人体や自然に与える影響が大きいともいえます。

国や各自治体は、環境に対して厳しい基準を設け、それを守るように指導しています。

町の取り組み、

企業の取り組み

企業が経済活動を行う時、大気汚染や騒音などさまざま問題が発生することがあります。近年は、集塵装置の設置や防音施設の建設など周辺住民に配慮しています

地域が反対すれば経済活動が難しくなってきました。町では、町民の不安を解消する

ため抜き打ちで水質検査を実施。農業の使用が水質の悪化を招いていないか、ごみ処分場で汚水が地下に浸透していないかなど、自然破壊につながらないように目を光らせています。

最終処分場のある早来工営社は周辺に住む方が一番危機感を持つ事業所の一つです。

しかし町が行っている検査では国の基準内で問題がない企業といえます。また、環境破壊を監視している団体の方によると「産業廃棄物処理業の早来工営社は、私たちの要望に真摯に対応してくれました」と評価しています。

今回、最終処分場を拡大するにあたり「国の指針以上に汚水対策は万全にしています」と会社の方からコメントをいただきました。

絶えず監視の目を持つ

土壌汚染や水質悪化は、長い年月をかけて現れることがあります。

地域と行政、そして企業がそれぞれ監視を行い、安全で安心できるまちを目指していくことが大切です。

分かりやすく単位を長さなどで比較すると…

単位	ppm (100万分の1)	ppb (10億分の1)	ppt (1兆分の1)
長さ	1 kmの行程中の1 mm	東京～下関間の距離のうち1 mm	地球を24周するうちの1 mm
時間	1秒 / 12日間	1秒 / 32年	1秒 / 3万2,000年
お金	1円 / 100万円	1円 / 10億円	1円 / 1兆円
重さ	1 gの荷物 / 1トン積みの小型トラック	1 gの荷物 / 10トン積みの大型トラック100台	1 gの荷物 / 10万トン積みの大型タンカー10隻
面積	甲子園球場の中の1枚のはがき	東京都渋谷区の中の1枚のはがき	岩手県の中の1枚のはがき
容積	1 mlの水 / 1 m ³ 家庭用風呂	1 mlの水 / 縦20 m、横50 m、深さ1 mのプール	1 mlの水 / 同プール1000個

現在建設中の最終処分場の
第5ピット。10月下旬に完成
予定。(9月6日撮影)



会社正門前



社名
早来工営株式会社
本社所在地
神奈川県川崎市川崎区扇町6-1
支店所在地
北海道勇払郡早来町早来新栄20-1
資本金 2,000万円
事業内容 各種廃棄物の陸・海上の収集、運搬、処理、処分業務ほか多数

早来工営の歩み

※会社要覧から引用

昭和50年11月	会社創立(11月18日)
昭和57年10月	三友プラントサービス㈱本社にて北海道勇払郡早来町に埋立処分場建設計画を決定する。
昭和59年11月	処分場計画地45.6haを取得する。
昭和60年3月	埋立処分場建設工事着手。
8月	埋立処分場建設工事完成。 北海道知事より産業廃棄物の埋立処分場及び収集・運搬許可を取得。
昭和61年6月	北海道知事より廃酸・廃アルカリの中和脱水及び天日乾燥の中間処理業の変更許可を取得。
平成元年6月	第2期管理型処分場工事開始。
9月	第2期管理型処分場工事完成。
12月	第2期管理型処分場使用開始。
平成5年12月	第3期管理型処分場工事完成。
平成7年7月	石狩三友マネジメント株式会社と早来工営株式会社が合併。商号を早来工営株式会社とする。 合併により北海道知事より産業廃棄物処分場及び産業廃棄物収集運搬業新規許可取得。
平成9年8月	北海道知事より一般廃棄物処理場許可取得。



自分の実力を試す

8月27日、プールフェスティバルがスポーツセンター町民プールで開催されました。

今年から障害物競走とビート板競争の2種目に加わり延べ58人の選手たちが出場し、父母らの声援のもと、日ごろの練習の成果を発揮し、3つの大会新記録が飛び出しました。

トランペットの音色に酔いしれる

9月24日、トランペット・ソロ・コンサートが酒蔵すえひらで開催されました。

この日は、札幌交響楽団トランペット奏者の前川和弘さんを招き、演奏曲の紹介や楽しいお話を交えながら、演奏が披露され集まったみなさんはその音色に聞きいっていました。



戦没者をしのぶ

9月1日、安平町戦没者追悼式が追分公民館で行われました。

合併後、初めてとなるこの追悼式では、遺族の方が会場に参列し、献花を行い145名の戦没者をしのびました。

安心安全！ 学校給食試食会

9月20日安平町議会議員の皆さんが学校給食を試食しました。

この日は、追分地区の給食メニューが出されご飯、みそ汁、かれいのからあげ、ごぼういりなどを試食しながら、栄養士からの地場産や道内産の食材を使用した献立についての説明に耳を傾けていました。





会場は、町民とのふれあいやサークル同士が交流を深めるようすが見られました。

ふれあいと交流を深めました
日ごろの活動を町民の皆さんに見てもらおうと9月10日追分公民館で公民館まつりが開催されました。陶芸同好会や木彫り教室「くるみ会」のコーナーでは、一般の人も体験することができました。ロビーでは、フォークダンス同好会のメンバーが揃いのコスチュームを着てダンスを披露。2階の研修室では、子供向けの映画上映や人形劇の鑑賞会が行われました。



講習会で「AED」の操作方法を学習

9月4日と9日に普通救命講習会がスポーツセンターと安平支署追分出張所で開催され、総勢40名が受講し人工呼吸や心臓マッサージ法などを体験しました。

また、平成16年から一般の人も扱えることになった心臓に電気ショックを与える器具「AED」(写真円内)の操作項目も追加。講習を終えた方には「普通救命講習修了証」が交付されました。

安平支署では、10月1日より町内で開催の多くの町民が集まる各種イベント、講演会、スポーツ行事等を主催する団体などにAEDの貸し出しを始めました。スポーツにおける突然の心停止例は、ほとんどが屋外と言われていますが、3分以内にAEDが正しく使用できて心肺蘇生法を実施できれば救命率は飛躍的に向上します。

「貸し出しには一定の条件がありますので詳しくは、警防係(☎2074)までお気軽に問い合わせを」と呼びかけています。

幼稚園児が放水活動を体験
火事の恐ろしさを教え、火遊び防止を図るため追分幼稚園児38人が9月8日に消防署追分出張所を見学しました。職員から火災についての話を聞き、「火遊びは絶対にしない」ことを約束。その後、消防車や救急車の中を視察した園児たちはいろいろな計器類に驚いている様子でした。年長組の園児たちは、防火服を着て放水に挑戦。さまざまな見聞や体験を通して改めて防火について学びました。



故門馬正男さんに正七位・瑞宝単光章

門馬正男さん(故人)に対する正七位・瑞宝単光章の伝達式が8月28日に追分郵便局で行われました。

門馬さんは、昭和5年6月札幌郵便局を皮切りに昭和49年7月まで44年間郵政職員として勤務。その間、昭和33年6月に追分郵便局の局長代理に就任以来、現場の重責を担ってきました。退職後も旧追分町の固定資産評価委員や社会教育委員などを歴任し、町民に慕われ今年2月の閉町記念式典では永年在住者として表彰されました。



追分郵便局長から家族の方に伝達



身近な課題を行政に要望
日ごろ感じていることや町に対する要望などについて、町長と気軽に語り合う町政懇談会が9月26日から4日間、それぞれの会場で開催されました。参加した人は道路周辺の草刈や除雪の徹底をお願いしたり、合併してどのように変わったのかなどを質問していました。農村地域等は、農産物の収穫作業が落ち着く11月に行う予定です。



唄えや踊れ!! わが郷土の秋祭り

祭りの季節を迎えた9月。安平町では各地区で神社の祭典が行われました。

「昔は年に一度のお祭りが唯一の楽しみだった」と孫に語る声が聞こえてきます。カラオケあり、仮装あり、踊りあり、郷土の伝統がそれぞれ表れていました。

元気な町の 知恵袋

9月の第3月曜日は「敬老の日」です。長寿を祝う会に参加する人、社会奉仕に協力する老人クラブの会員など、人生の先輩、町の知恵袋の皆さんの元気でいきいきとした表情をウォッチングしました。



追分市街を走るJRで分断された東西地域の架け橋「センターブリッジ」をきれいにしようと、9月22日に老人クラブ連合会が清掃活動を行いました。(写真左)そこは子どもたちの登下校の通り道にもなっています。ゴミを拾い、雑巾で汚れをふき取り、手すりもきれいになりました。



イベント盛りだくさん

各地で保育園の 運動会

わが子が出る種目にお父さんやお母さんも参加。元気いっぱい競技する姿を撮影しました。
みんな一生懸命がんばり、勝っても負けても観客席から大きな拍手が送られました。



第 1 回
あびら
どろんこまつり
収穫感謝の集い

あびらどろんこまつりが9月23日に瑞穂ダム特設会場で開催され、町内外から800人が集まりました。

旧早来町では恒例のまつりでしたが、安平町では名称を変えての第1回目。

かぼちゃボーリングやどろんこスライディングの競技では、観衆から声援が送られ勝者への賞品は、地元産の米やジャガイモなどの農産物でした。

快晴に恵まれた会場では終日明るい笑い声に包まれていました。



「・・・」



勢いよくジャンプ!?



チャレンジャー
“最高齢の挑戦者” 鎌野利博さん
(追分美園)の余裕の笑顔



トラクターで引っ張る幌馬車



おいしいおやきをバツク詰め



「飛び込んだときの感想は？」
「よかったです!」



大苦戦のかぼちゃボーリング

平和の誓いを新たに

日本は昭和20年に終戦を迎えて61年。その年の8月6日には広島市に、3日後の9日には長崎市に原子爆弾が落され多くの犠牲者が出ました。

今回、安平町の小学生と中学生が広島平和記念式典に参加するため出発。現地での研修などを通して、平和の大切さをあらためて感じてきました。

平成18年度 広島平和記念式典派遣事業

広島市での体験を発表

広島平和式典の派遣事業に参加した小・中学生の報告会が9月1日に追分公民館で行われました。

安平町として初めてとなる広島平和記念式典派遣事業に参加することになった児童生徒は、追分小学校の向井瑠偉君、早来小学校の渡邊みゆきさん、追分中学校の水尾健斗君、そして早来中学校の大原れいさんの4人です。

出発式で決意を語る

8月4日 早来庁舎で出発式が行われ、町長、教育長、沼田校長先生(追分小)から激励のことばをいただきました。追分小と早来小の児童と追分中と早来中の生徒が作った折りづる、そして旧追分町で実施していた時から続けている井森みゆきさんから平和の

願いが込められた折りづるが託されました。

最後に参加者それぞれが広島に向けての決意を語りました。

参加者の一人、大原さんはアニメマンガの「はだしのゲン」を小学生の時に見て、原爆に対して関心を持つようになった。今回の事業に申し込んだといっています。

炎天下の中での式典

8月5日に広島空港に着いた一行は、厳しい暑さを実感。そして迎えた8月6日早朝も猛暑が参列した人を襲ったそうです。

強い日差しを受けながらの会場入り。式典は午前8時に始まり、この一年間に亡くなられた人や新たに確認された被爆者5,350人の名簿などが奉納されました。

原爆が投下された午前8時

15分に黙とう。これは被爆死された方への弔意と平和の願いを表わすものです。

広島市長の平和宣言の後、子ども代表二人が平和の誓いを述べました。またスミス・アンジェリアさんは、両親が日本人とアメリカ人。原爆を通して平和の扉を開くために歩み続けたいと誓っていました。内閣総理大臣や広島県知事



左から水尾健斗君(追中3年)、向井瑠偉君(追小6年)、渡邊みゆきさん(早小6年)、大原れいさん(早中3年)、及川秀一郎主幹(町職員)



原爆投下前の広島県産業奨励館のイラスト(現在の原爆ドーム)

活動日程

期 日	事業内容
8月4日(金)	出発式
8月5日(土)	新千歳空港から広島空港へ
8月6日(日)	平和記念式典参加、記念碑めぐり、被爆体験談拝聴、資料館見学ほか
8月7日(月)	広島空港から新千歳空港へ (出発時間まで自主研修)



井森みゆきさんから平和の願いが込められた折りづるを預かる(8月4日、早来庁舎)



研修の成果を発表する早来中3年の大原れいさん(9月1日追分公民館)



説明資料を配布する被爆体験者の塩冶節子さん(写真左端)

などのあいさつが行われ、最後に「ひろしま平和の歌」を全員で合唱。式典は厳粛に執り行われたといえます。

被爆体験者の声を聞いて

式典終了後、現地の方の案内で慰霊碑や供養塔などを見学。5歳の時に被爆した塩冶節子さんから、体験談を聞き、当時発行された被爆証明書の現物を見せてもらいました。

自分の妹が原爆の後遺症で亡くなった話になると涙ぐんでいたのが印象的だったそうです。

平和記念資料館に行つて

原爆に関する写真や遺品などを収めている平和記念資料館では、皆さん声を詰まらせたといえます。

原爆投下時刻で止まったままの腕時計、焼け焦げた衣服、熱線を浴び背中中の皮膚がたれた人の写真など、核兵器の恐ろしさを参加者全員が実感したそうです。

現在の広島市を視察

北海道に帰る日、出発まで市内を自主研修。世界文化遺産に登録された厳島神社や国

の史跡である広島城などを視察しました。

研修を終えて

「充実した2泊3日でした」と参加した全員が感じています。「戦後61年が経過し、戦争の記憶が薄れ、原爆の悲惨さが忘れ去られようとしている時代だからこそ、この事業を続けてほしいと思います」と参加した生徒からコメントをいただきました。

また、「被爆された方から直接お話を聞くことができ、貴重な経験をしました」と語ってくれました。



悲惨な状況の写真を真剣に見つめる会場の皆さん(体験発表会場にて)



現在の原爆ドーム周辺



現地での写真に見入る会場の皆さん



発表する原稿に細かくメモ書き

平成18年度

安 平 町 中 学 生 海 外 派 遣 事 業

外国での新たな発見と貴重な生活を体験

8日間の海外研修の成果を発表
事前事後で7回の研修

中学生海外派遣事業の報告会が9月1日に追分公民館で開催されました。

この事業に早来中学校と追分中学校の生徒12名が参加。8月2日から9日まで、7泊8日間の日程でオーストラリアを訪れました。

中学生の海外研修は、旧早来町で毎年実施された事業で、作文と面接をもとに選考されていきました。合併により追分中学校からも生徒を募り4名を決定。事前研修は、7月5日から始まりました。

パスポートの申請方法や渡航手続きの説明を受けたり、研修テーマを決めるために4回の事前研修と、報告会の資料作りなど事後研修を3回行いました。

同行した畑田主事は、「夏休みを挟んで計7回の研修は、生徒たちにとって大変忙しかつたと思います。しかし、回を重ねるうちに参加者同士の連帯意識が強まってきた」と感じたそうです。



スライドを見ながらの解説

市内見学とホームステイ

飛行機は21時10分に成田空港を出発し、翌朝7時35分にオーストラリアのシドニーに到着しました。

早速、一行はオペラハウスや水族館など市内を見学してホテルに戻りました。

現地滞在2日目は学校訪問。ムーアバンク校を訪れ、家庭科や美術などの授業や昼食会に参加し、折りづる作りを披露して交流を深めました。

その日の生徒たちの宿泊先はホームステイ先の家でした。

ホームステイ先で2泊過ごした8月6日に生徒たちは再び合流。受け入れ先の家族の皆さんとの夕食会に参加してホテルで就寝しました。

8月7日に国内線でシドニーからブリスベンに移動し、オーストラリアの自然学習を行い、さらにゴールドコーストの町を見学。最終日の8月9日の9時5分にブリスベンの空港を離陸し、6時間50分後の16時55分に成田空港に着きました。



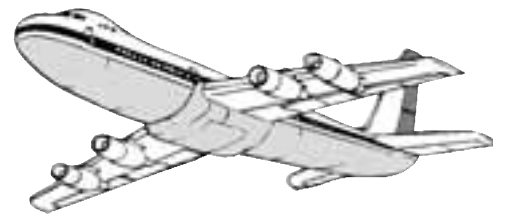
日本の折り紙を指導

海外で感じ、学んだこと

12名のうち11名の生徒は、外国が初めて。機内食の味や



追分公民館で行われた出発式
前列右から、畑山優大君(早中2年)、沼田裕太君(同)、藤原岳史君(同)、大橋祐翔君(同)、中田楓七さん(早中3年)、佐藤あづささん(同)、山岸由貴さん(添乗員)。
後列右から、清水美穂さん(追中3年)、高橋唯さん(追中2年)、三浦可蓮さん(同)、立浪有紗さん(同)、佐々木瞳さん(早中2年)、佐々木麻美さん(同)、畑田正宏社会教育主事



飛行機の中の些細なできごとにも驚いていました。オーストラリアの人は、甘い物好きで大食漢だと感じているようでした。

ことばの違いは身振り手振りを使ったのコミュニケーションで意思を伝え合い、学校訪問では、実際に授業に参加し地元の生徒と交流を深めました。ホームステイ先では、温かいもてなしに全員が大喜び。自分たちが好きな物を出してくれたり細かな心遣いに感激したそうです。

時間に対する感覚の違いも

実感し、ホテルの部屋には時計はなく日本のように時間どおりの生活はしてないとほとんどの参加者が感じました。

ホームステイ

先の家の時計は10分ほど時間がずれていたそうです。

しかし、現地の方は時間に縛られず、ゆったりとした生活が優しい性格の人に育てると思うようなった生徒もいます。

町の中でお寿司屋を見つけ、日本語でメニューが書かれていたのに驚き、日本人観光客が多いことを改めて知りました。

コアラ探索プログラムでは、野生のコアラと対面。年間400頭の野生のコアラが死んでいるが、交通事故によるケースが多いといえます。人

間が原因で亡くなっていることに生徒たちはショックを感じていました。

今回参加した全員が異口同音に、実際に体験しないと分からないことが多く、いろいろなことを感じ、学ぶことができました。この海外研修を支援していただいた方に感謝しています。



報告会を終え、表情が和らぐ生徒の皆さん

安平町まちづくり委員を

募集します

専門的な知識より普段生活しているうえで気がついたことや体験をもとにした意見、細かな事柄など計画に配慮すべき声を期待しています。

安平町のまちづくりに係る

重要な計画や行財政施策などについて、住民の目線で率直な意見を出していただき、その声をまちづくりに反映させることを目的に、安平町まちづくり委員会の委員を募集します。

応募資格

満18歳（高校生を除く）から概ね60歳以下の安平町に在住する方若しくは安平町内の事業所等に勤務する方で、安平町のまちづくりに対し熱意と関心があり、町長が招集する会議に出席可能な方。

募集人員

6名（応募者多数の場合は当方で選考します）

*定数16名以内ですが募集は6名とさせていただきます。

募集期間

10月10日（火）

～10月31日（火）

応募方法

市販の履歴書又は役場に備え付けの応募用紙（早来庁舎企画課企画調整係にありま）す）に記入のうえご応募願います。

応募先・問合せ

企画課企画調整係

☎22751

まちづくり委員会とは？
期待する意見とは？

まちづくり委員会は、町民本位のまちづくりを進めるためのもので、行政が事業などを進めるうえで基本となる「各種計画」の策定などに直接関わっていただくことを目的としています。

委員会は年に何回開催するの？ 時間帯は？

委員会は不定期の開催になると思います。今年度の委員会は多くても6回程度で概ね2時間くらいと考えていますが、審議の案件によってはそれ以上になることもあります。時間は、午後5時以降に行うことで考えていますが、各委員の都合にも配慮したいと思います。

仕事の都合で急きよ委員会を欠席する場合は？

開催の案内は極力早く行いますが、当日やむを得ない理由で出席できない場合には、ご連絡をいただき、後日会議の結果を書面でお知らせし、次回の会議に支障がないようにします。

安平町総合計画策定模擬議会の議員 緊急募集!!

安平町の将来の姿や方向性を形に表す安平町総合計画の策定。あなたはどのような町を目指すことを望みますか？

町では下記により模擬議会の開催を予定しています。町の将来などについて色々なご意見やご要望があると思いますが、是非この機会に参加し、自分の意見や要望などを述べてみませんか。

募集人員 18名以内（先着順により決定）

募集対象 町内に在住する小学生以上の町民の方（町職員及び町議会議員を除く）

募集期間 10月10日（火）～10月24日（火）

開催予定 11月6日（月）17時30分～19時30分頃まで

*上記日程で開催する予定ですが、決定しだい改めて応募された方に通知します。

開催場所 役場追分庁舎議場

応募方法 企画課企画調整係へ直接申込みをするか、電話（☎22751）により申込みください。

*申込みされた方には、後ほど質問の用紙を送ります。

安平町の未来像

作文 絵(挿絵) 写真

募集します

安平町では、今年まちの将来を描く総合計画を作ることにしており、町民の皆さんから応募された作文や絵(挿絵)、写真を計画書の中に掲載したいと考えています。

左記により作品を募集しますので、多くの皆さんからのご応募をお待ちしています。

1. 募集作品と題材

① 作文

- ・ 町内の学校に在学中の小学校1年生から中学校3年生までの児童、生徒及び町内に居住もしくは町内の高校に通学している生徒。(町外から通学している生徒も可)
- ・ 題材は、『10年後の安平町はこんなまち』とします。

② 絵(挿絵として使用)

- ・ 町内の学校に在学中の小学校1年生から中学校3年生までの児童、生徒及び町内に居住もしくは町内の高校に通学している生徒。(町外から通学している生徒も可)
- ・ 題材は、『安平町の未来像』とします。

③ 写真

- ・ 町内に居住もしくは町内の高校に通学している生徒(町外から通学している生徒も可)、町内に居住する高校生以上の町民の皆さん。
- ・ 安平町に関するものであれば、題材は自由とします。

2. 応募条件

① 作文

- ・ 市販の原稿用紙(4000字詰) 2枚以内とし、余白又は裏面に学校名、住所、氏名、電話番号を記載すること。(記載の無いものは失格とします。)

② 絵(挿絵として使用)

- ・ 市販の画用紙(B4サイズ)とし、裏面に学校名、住所、氏名、電話番号を記載すること。(記載の無いものは失格とします。)
- ・ 色は何色でも可とし、画材はクレヨン、絵の具など自由とします。

③ 写真

- ・ 写真(ネガも可)、デジタルの場合メール送信(アドレスは下記のとおり)又はCD・RWに写真をおとしたもの。

■ メールアドレス

kikaku@town.abira.lg.jp

(企画調整係)

④ その他

- ・ 各部門とも、お一人様1点限りとさせていただきます。
- ・ *一人で2点以上の応募があった場合は失格とします。
- ・ 応募された作品は、お返ししません。

3. 募集期間

10月10日(火)

～11月9日(木)

*但し、土・日、祝日を除く。

4. 審査

安平町総合計画策定調整会議において審査します。

5. 表彰

- ・ 入選者には、表彰状と記念品を贈呈します。
- ・ 各部門とも、最優秀賞1点、優秀賞2点とします。なお、入選作品の著作権等は安平町に帰属することとします。
- ・ 入選されました方には直接通知します。又、町広報あびらで入選者の発表を行います。

6. 応募・問合せ

企画課企画調整係

☎22751

・ 郵送による応募も可能です。



犯罪被害防止に 向けて...

先月、安平町内で町の水道職員を名乗る男2人組による窃盗事件が発生しました。その他、ほかの自治体でも類似する事件や詐欺事件が発生しています。この機会に「家庭における防犯」について考えてみましょう。

知っていても被害が

振り込め詐欺被害者の98・8%がその詐欺のことを知っていたといえます。警視庁の調査では、いわゆるオレオレ詐欺の中で被害者の8割が女性で50歳以上が9割を占めているとのこと。

また電話は9時から14時までが多く、これは金融機関にお金を振り込むことができる時間帯です。

あるアンケートで7割以上の人が振り込め詐欺に巻き込まれないと回答。その理由として「手口を知っているから冷静に判断できる」「自分には関係ない」と答えています。

一方、検挙された犯人の手口は、衝撃的な内容を次々と話しかけ、相手に考える時間を与えず、すぐに金を振り込まないと大変なことになると信じ込ませ、被害者の気持ちをおおくり、焦らせて判断力を奪うとのことでした。

一日に100件以上電話をかけていると、自分でも驚くほど演技力が上達するそうです。家族の危機的な状況を信じ込ませ、「自分が何とかしなけ

れば」という気持ちにさせ、お金を振り込ませることがこの犯罪の特徴といわれています。

みんなでつくる安心のまち

北海道では、防犯協会、警察、自治体などと、地域の皆さんが連携して犯罪や事故等による被害を未然に防止し、安全で安心して暮らせる地域社会を実現を図るため、次のとおり「全国地域安全運動」を行います。

また昨年12月に、10月11日を「安全・安心なまちづくりの日」として決定され、今年がその第1回目の年です。

1 運動の期間

平成18年10月11日から10月20日までの10日間

2 運動のスローガン

みんなでつくる安心のまち

期間中、犯罪の未然防止のためのパトロールや子供を犯罪から守るための対策など様々な活動が行われます。

安平町における民間の活動

追分地区では民間ボランティアによる青色の回転灯を付けた車両による巡回や子ども



犯罪被害防止を目指す子供安全パトロール（追分地区）

もサポート隊による活動、安平地区は見送り隊、早来地区は北町自治会の皆さんが中心となり組織された児童安全パトロール隊により犯罪の未然防止に努めています。

職員を装った訪問販売などにご注意を！

今回発生した事件について水道課では、各家庭の水道管や排水管の洗浄、浄水器の販売、依頼がない水質検査は行っていません。「もし不審に感じた時は、家の中に入れない。さらに身分証明書の提示を求めてください」と呼びかけています。

まずは担当課まで問い合わせてください。早来地区は第1水道課 ☎ 2730、追分地区は第2水道課 ☎ 2411 です。

ワンポイントアドバイス

名刺や身分証明書がパソコンで簡単に作ることができる時代。「役場に確認してもよいですか？」と聞いて相手の反応を観ることも被害防止対策のひとつにはいかがでしょうか。

安平町職員が携行している身分証明書

安平町役場身分証明書

顔写真	職員番号	200 あびら まちこ	職印
	氏名	安平 町子	
	生年月日	昭和 27 年 8 月 1 日	
	住所	早来大町 95 番地	
発行日	平成 18 年 4 月 23 日		
	安平町長	瀧 孝	

お知らせ

足腰しゃんしゃん教室 参加者募集

最近、足腰が弱くなったと感じている方、転倒の不安がある方、運動不足の方・・・ぜひこの機会に参加してみませんか？健康運動指導士によるストレッチや音楽に合わせた体操など、楽しく体を動かせる教室です。ご不明な点はお問合せください。

日 時 11月14日(火)

～平成19年2月26日(月)

(週1回開催、全11回)

13時30分～15時30分(予定)

対 象 ぬくもりセンター

65歳の方で、簡単な運動を行ってみたい方

＊先着30名とさせていただきます。

また、介護認定を受けている方は対象外とさせていただきます。

10月31日(火)まで

申込み・問合せ

介護保険課介護予防係

☎ 4555

☎ 25 4555

☎ 25 4555

献血にご協力を！

実施日	場 所	時 間
10月23日 (月)	ぬくもりセンター	10時～13時
	役場追分庁舎	14時15分～16時

子育て支援ルーム 「ポニー」から

10月の親子の広場

- 11日(水) ダンボール遊び
 - 18日(水) 小遠足(ときわキャンプ場集合)
 - 25日(水) 子育て支援講座
- 時間 10時から11時30分
場所 学童保育所(早来大町)

開放日

- 日時 毎週金曜日 10時～11時30分
- 場所 学童保育所(早来大町)

おはなし広場 (0歳～1歳対象)

- 日時 毎週火曜日 14時～16時
- 場所 子育て支援ルーム

問合せ・申込み 子育て支援ルーム

☎ 3190

フッ化物塗布

対 象 満1歳～就学前の児
*10月と12月の1歳半・3歳児・5歳児健診対象の児とその兄弟姉妹は健診時に行ってください。

内 容

歯科検診、フッ化物塗布、
歯科相談

申 込 み

予約されていない方のみご連絡ください。

持 ち 物

歯ブラシ、タオル、母子手帳

問 合 せ(申込み)

保健課母子保健係

☎ 4555

月 日	受 付 時 間	会 場
11月14日(火)	9時～10時30分	保健センター
	14時30分～15時30分	
11月17日(金)	13時45分～14時	安平公民館
	15時～15時15分	遠浅公民館
11月20日(月)	13時～15時	ぬくもりセンター
11月21日(火)		

掲 示 板

☑安平町早来囲碁大会結果!!

- A組 (6名)
 - 1位 3段 吉岡政昭
 - 2位 4段 飯田佳一
- B組 (5名)
 - 1位 初段 沖 俊明
 - 2位 1級 徳丸照明
 - 3位 3段 森山 誠

苫小牧市医師会休日当番実施医療機関

(診療時間 9時～17時)

10月 (内科)	10月 (外科)
8日 青葉病院青葉町2 ☎⑦ 8000	8日 同樹会苫小牧病院 新中野町3 ☎③ 1221
9日 横山内科消化器科川沿町4 ☎⑦ 0011	9日 とよた腎泌尿器科クリニック 元中野町2 ☎③ 2000
15日 滝上循環器科内科クリニック泉町2 ☎③ 8011	15日 苫小牧日翔病院 矢代町2 ☎⑦ 7000
22日 合田内科小児科医院音羽町2 ☎③ 9208	22日 勤医協苫小牧病院 見山町1 ☎⑦ 3151
29日 すえくに医院川沿町6 ☎⑦ 8385	29日 ハート整形麻酔科クリニック三光町2 ☎③ 7000
11月 (内科)	11月 (外科)
3日 柴田内科循環器科 桜木町1 ☎⑦ 2225	3日 江夏泌尿器科医院 木場町2 ☎③ 3855
5日 緑町医院 桜木町1 ☎③ 4032	5日 にっしん泌尿器科クリニック日新町2 ☎⑦ 1100

苫小牧夜間休日急病センター (苫小牧市旭町2丁目) ☎③ 0001

○科目 内科、小児科

○診療時間 平日：19時～翌朝7時 土曜：14時～翌朝7時
日曜・祝日、年末年始(12/31～1/3)：9時～翌朝7時



町広報配布日は毎月5日と25日。笑顔(スマイル)10月号は25日(水)、広報あびら11月号は、5日が休日のため11月6日(月)に配布となります。配布については、総務課総務係(☎2511)にお問合せください。

「地域情報化」「町花・町木」に関するアンケート調査にご協力ください

安平町が誕生して6カ月が誕生しました。

この間、新たな町「安平町」のまちづくりのため、町も様々な課題について取り組みを行っております。その中で、インターネットやパソコンなどITを活用し、皆様の生活に役立てることを目的として、地域の情報化を計画的かつ有効的に進めるための「地域情報化計画」と、新しいまちづくりに重要となる「町花・町木」の2つの取り組みについて、町民の皆様のお考えをお聞きし、より皆様のお声を反映させ、取り組みを具体化させていただきたいと考え、アンケート調査を実施します。

町木に関するアンケート調査
*広報「あびら」に折り込まれています。

問合せ
「地域情報化」に関して

情報課情報管理係
担当 坪田・武田

☎25411

「町花・町木」に関して

まちづくり推進課まちづくり推進係
担当 渡邊・木村

☎2514

安平町表彰条例が施行されました

安平町の自治、社会、産業経済、教育文化その他各般にわたって町政の発展に寄与したものの又は町民の模範と認められる行為があったものを表彰し、もって自治の振興を促進することを目的として安平町表彰条例が9月25日に施行されました。

表彰の種類は、町政功労賞、特別功労賞、町民荣誉賞のほか自治功績賞、社会貢献賞、産業功績賞、教育功績賞、公

内容
安平町「地域情報化」「町花・

期間 10月5日(火)
10月31日(火)

胆振東部消防組合消防職員採用試験

採用予定年月日
平成19年4月1日

採用予定人数
救急救命士1名

受験資格

①高等学校卒業以上(短期大学、専門学校を含む)で、昭和58年4月2日以降に生まれ、採用時までに救急救命士および普通自動車運転免許証を所持し、採用後において勤務地に居住できる方。

②その他(身長160cm以上、体重50kg以上、胸囲・身長

の2分の1以上、視力・両眼共に1.0以上、色覚および聴覚・正常)身体強健な方。

試験方法
①口頭試験、論文試験

試験日 11月16日(木)

試験会場
胆振東部消防組合消防本部(厚真町)

受付期間
10月23日(月)

11月6日(月)

8時45分〜17時15分まで
受付(土・日曜日は休み)
*提出書類などの詳細についてはお問合せください。

受付・問合せ
胆振東部消防組合消防本部総務課総務係

☎267100

ビューティーサポート R234

花壇の後片付けのお知らせ

JR早来駅前国道沿いにある花壇の後片付けを行います。今年度最後の活動となりますので、参加団体の皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

日時 10月30日(月)
13時30分〜

*雨天時は10月31日(火)に延期し、13時30分から実施します。

場所 JR早来駅前

持ち物 軍手、ゴム手袋等

問合せ
まちづくり推進課まちづくり推進係 ☎2514

秋の行政相談週間

10月16日(月)〜10月22日(日)

○1日合同行政相談所を開設いたします

日時 10月16日(月) 10時〜15時
場所 ぬくもりセンター多目的情報会議室

○第40回合同行政懇談会を実施します

日時 10月18日(水) 13時30分〜
場所 役場早来庁舎2階大会議室

問合せ 総務課総務係 ☎2511

訂正します

広報あびら9月号の6ページの地図の中で、施設名に誤りがありましたので訂正します。
老人憩の家(誤) ↓ 憩の家(正)

建設業退職金共済制度加入促進強化月間

10月1日～31日

善意

町へ

安平小学校教育施設設備として
記念碑一基、ピアノオーバー
ホール一台、グラウンドフェ
ンス設置一式、校歌額一式

○安平小学校開校百年記念事
業協賛会 会長三上直克

スクールバス運転手へ
ティッシュペーパーケース8枚

○菅原芳子さん (早来大町)
社会福祉協議会へ

篤志寄付として
○小塚孝男さん (早来北町)

香典返しとして
○山口道博さん (恵庭市)

○安井恵美子さん (追分若草)
○梶田博雅さん (追分若草)

○榎田博雅さん (追分若草)
チャリティ益金

安平町誘致企業会
北進自治会へ

香典返しにかえて
○磯部涼子さん (早来北進)

社会福祉協議会へ
しらかば自治会へ

香典返しにかえて
○高木治さん (早来大町)

社会福祉協議会へ
東早来第1自治会へ

香典返しにかえて
○遠藤俊夫さん (東早来)

社会福祉協議会へ
さかえ自治会へ
デイサービスセンターサックルへ
香典返しにかえて
○大木節子さん (早来栄町)
社会福祉協議会へ

遠浅自治会へ
遠浅婦人部へ
遠浅老人クラブへ
香典返しにかえて
○阿部ヨシ子さん (遠浅)

社会福祉協議会へ
ポータブルトイレ一台
○柴田コトさん (安平)

車椅子一台・紙オムツ
○高木治さん (早来大町)
広報あびら9月号の点訳

○安平町点訳赤十字奉仕団
合計 3,080,960円

お知らせ

公営住宅・特公賃住宅・町
営住宅の入居者募集は、今後
「笑顔(スマイル)」に掲載する
ことになりましたのでご覧く
ださい。

無料調停相談

交通事故、公害、土地建物、金銭、
離婚、遺産相続の問題等でお困りの方
は気軽にご相談ください。秘密は守ら
れます。
日時 10月25日(水)10時～20時
場所 苫小牧市民活動センター3階
問合せ 苫小牧調停協会・研修委員会
岩村 ☎ 0144-76-1055

町民バス運休日が変更になります

追分地区と早来地区を結ぶ循環バスが11
月1日(水)より運行となりますが、これに伴い、
現在早来地区で運行している「町民バス」の
運休日が月曜日から日曜日に変更となりま
す。詳細はおってお知らせします。
問合せ 総務課車輛管理係 ☎ 2511

運転免許証更新時講習

	11月	時間	場所
一般講習	2日・7日・10日・14日・21日・27日	10時00分	苫小牧市 交通安全センター
	6日・16日	13時30分	
優良講習	1日・6日・8日・13日・15日・17日	10時00分	
	20日・22日・24日・28日・30日	13時30分	
	10日 7日・21日	15時30分	

このほかの講習日程(違反・初回)については、苫小牧警察署に
お問合せください。☎ 0144・35・0110

マチの人口・世帯

総人口 9,279人 (-14)
男性 4,626人 (-16)
女性 4,653人 (+2)
世帯数 4,223世帯 (-12)
(平成18年9月30日現在)

交通事故死
ゼロ運動
平成18年9月30日現在 501日

お誕生おめでとうございます
川崎莉音 8/29(女・幸洋)早来栄町
佐藤真斗 9/3(男・能宣)早来栄町
竹葉飛馬 9/5(男・淳)早来北進
下出恭平 9/6(男・佳史)追分白樺
宇野彩来 9/11(女・雅洋)追分花園

ご結婚おめでとございます
岩淵良智(早来大町)
實吉久美子(早来大町)

お悔やみ申し上げます
大木末吉 8/31(78)早来栄町
竹中 勇 8/31(72)早来大町
高木みさを 9/1(95)早来大町
田中 妙 9/3(83)追分相が丘
杉谷久義 9/3(86)追分青葉
東フミエ 9/4(82)追分白樺
中島ユキ 9/5(88)追分若草
阿部真 9/9(80)遠浅

赤い羽根共同募金

10月1日～12月31日

地域の福祉みんなで作る

元気に 大きくな～れ!



木戸^{しょうた}翔太くんと
お母さんの亜希子さん



高田^{あつし}惇志くんと
お母さんの陽子さん



中島^{りゅうと}琉渡くんと
お母さんの里美さん

CHILD & MOTHER

表紙

追分保育園運動会 9月16日
追分中学校グラウンド

編集後記

合併からあつという間に6カ月が過ぎました。

このほど、「10年後の安平町はこんなまち」、「安平町の未来像」という題材での作文や絵、写真が募集されることになりました。

若者たちや町民の皆さんが夢を膨らませイメージする安平町の将来。どんな夢や希望が詰まった作品が応募されてくるかとても楽しみです。(T)

自分の手帳を見て9月はさまざまイベントが開かれたと実感。そして今月も多くの行事が組み込まれ、屋外から室内の事業が増えた。それぞれの小学校では学芸会が行われ、ロングランで町の文化祭も開催される。合併で人が多くなることは、たくさん作品に触れる機会が増えることにもつながる。皆さんの日ごろの成果の集大成を楽しみにしています。(N)

発行

安平町 企画編集／企画課広報広聴係

☎059-11595

勇払郡安平町早来大町95番地(☎0145-2511)